

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成31年4月

計画の名称	富山市下水道総合地震対策計画（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成29年度（1年間）	交付対象	富山市
計画の目標			

災害時における下水道施設の機能を確保するために下水道施設の耐震化対策及び減災対策を計画的に進める。

計画の成果目標（定量的指標）
①重要な管路の耐震化率を34.3%（H27年度末）から34.5%（H29年度末）に増加する。 ②マンホールトイレ設置率を0.0%（H27年度末）から2.0%（H29年度末）に増加する。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H27末)	中間目標値	最終目標値 (H29末)							
① 重要な管路の耐震化率（%） ＝（重要な管路のうち、耐震化が行われている延長）／（重要な管路延長）	34.3%		34.5%							
② マンホールトイレ設置率（%） ＝（マンホールトイレを設置された避難所）／（マンホールトイレを優先的に設置すべき避難所）	0.0%		2.0%							
全体事業費	合計 (A+B+C)	382 百万円	A	378 百万円	B	0 百万円	C	4 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
富山市	平成31年4月
	公表の方法
	富山市ホームページに掲載

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	富山市下水道総合地震対策計画に基づき、耐震診断を行い、管更生や可とう性継手の設置、人孔浮上防止などの耐震化工事を進めてきた。また、マンホールトイレの設置を2箇所で行い、地震時の減災対策に取組んだ。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（重要な 管路の耐震化 率）	最終目標値	34.5%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	34.5%	
	指標②（マン ホールトイレ設 置率）	最終目標値	2.0%	目標値と実績値 に差が出た要因
		最終実績値	4.0%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)				

3. 特記事項（今後の方針等）

今後も引き続き、富山市下水道総合地震対策計画に基づき、下水道施設の耐震化対策及び減災対策を計画的に進める。

水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 富山市下水道総合地震対策計画（防災・安全）（重点計画）		
計画の期間	平成29年度（1年間）	交付対象	富山市

